

市政ニュース

豊岡市「くらしの便利帳」を発行します 市民生活に必要な情報を官民協働で届けます

市では、市民生活に必要な情報を掲載する豊岡市「くらしの便利帳」を製作し、市民の利便性の向上を図ることとしました。7月に市内全世帯へ配布する予定です。

この「くらしの便利帳」の発行に当たっては、市が現在取り組んでいる行政改革の一環として、市の財政負担を伴わずに行政情報の発信ができるように、官民協働の事業手法を採用することとしました。



▲協定書の調印を終えた株式会社サイ優イ（左）と代表取締役市長（右）

に当たり、市と協働して便利帳を発行する株式会社サイネックス（大阪市）と市は、豊岡市「くらしの便利帳」の発行に関する協定書の調印式を市役所で行いました。

同社は、広告収入をもとに編集・印刷・配布費用をすべて負担し、市は、各種行政情報や防災・観光情報などを提供し、編集作業などをサポートします。

便利帳には、市の文化財や観光のほか、戸籍・住民登録などの各種手続き、健康・医療・福祉制度など市民生活に身近な情報を掲載し、合わせて企業などの広告も掲載します。

この便利帳の製作に当たり、同社の担当者が広告掲載のお願いに市内の事業者を訪問します。官民協働事業の趣旨を理解いただき、便利帳に広告を載せて、事業をPRしてください。

トキ・ツル・コウノトリが豊岡に集合！ 生きものと人・共生の里を考えるシンポジウムを開催

1月24日、「生きものと人・共生の里を考えるシンポジウム in 豊岡」を豊岡市民プラザで開催しました。

このシンポジウムは、トキ・ツル・コウノトリをシンボルにまちづくりを進める4つの市（新潟県佐渡市、山口県周南市、鹿児島県出水市、豊岡市）を核に平成18年度から始められたもので、環境省・国土交通省・農林水産省・文化庁の後援を受け、国、県、市、関係団体が共同で実施しています。



▲さまざまな意見が飛び交ったパネディスカッション

シンポジウム第1部は「鳥連合」4市長会談。それぞれの取組みを深めながら連携すること、2010年に名古屋で開催される生物多様性条約締約国会議の場で、連合の成果を世界に向けて発信していくことなどが確認されました。

第2部では、映画『田んぼ』の映像を題材にパネルディスカッションを行いました。

「農作業をしないと米はできないが、僕は農業がしたい。そのためには、生きものが

いっばいいるような面白い田んぼをつくりたい」（田中定さん・農業者）

「コウノトリは（放棄田など）人間にとって不慣れな場所に行く。鳥が大切なことを教えてくれている気がする」（横田登代子さん・NPO）

「田んぼの見方が変わった。これからはいろんな角度から見たり、考えて行動したい」（高岡百合恵さん・新成人）

「これからもずっとコウノトリを追いかけながら、たくさん生きものが住める田んぼを広げていきたい」（細川大蔵君・小学生）

各世代からの印象的な言葉が心に残りました。

- 〈主な市政の動き〉
- 1月
 - 23日・市民憲章等検討委員会 検討結果報告
 - 24日・生きものと人・共生の里を考えるシンポジウム in 豊岡
 - 27日・豊和会
 - 豊岡市防災会議・豊岡市国民保護協議会
 - 31日・まちぐるみ学校支援シンポジウム
 - 2月
 - 1日・バレーボール教室〜ミズノビクトリークリニック in 豊岡
 - 6日・豊岡市の「市民憲章」市の木・花・魚介」を制定
 - バス交通を守る市民検討会（城崎総合支所）
 - 10日・豊岡市「くらしの便利帳」発行に関する協定書調印式
 - バス交通を守る市民検討会（出石総合支所）
 - 12日・植村直己冒険賞特別賞発表
 - バス交通を守る市民検討会（竹野総合支所）
 - 13日・バス交通を守る市民検討会（日高農村環境改善センター）
 - 16日・バス交通を守る市民検討会（豊岡地区公民館）
 - 17日・バス交通を守る市民検討会（但東総合支所）

まちぐるみ学校支援シンポジウムを開催

学校・家庭・地域がお互いに高めあうしくみづくりを

1月31日、まちぐるみ学校支援シンポジウムを豊岡市民プラザで開催し、小中学校の児童・生徒ら約300人が参加しました。

このシンポジウムは、市内で行われている学校・家庭・地域社会が連携したさまざまな学校支援の取組みが、今後さらに充実し広がっていくことを願って開催したものです。

当日は、先進地である京都市での取組みについて、京都

市教育委員会小中一貫教育推進室長の井上佳和さんが「学校・家庭・地域がお互いに高めあうしくみづくり」と題した講演を行いました。

また、市内5つの小中学校の代表が、地域から支援を受けて行ったさまざまな活動事例の発表を行いました。

最後は、市内小学校30校の児童が舞台上上がり、日ごろお世話になっているまちづくり防犯グループの皆さんに、

感謝の手紙を読み、一斉に手渡しました。



▲まちづくり防犯グループの皆さんに感謝の手紙を渡す小学生たち

バレーボール教室〜ミズノビクトリクリニックin豊岡を開催

夢に向かってチャレンジすることが大切

2月1日、コウノトリ子育て支援メッセージ「夢へのチャレンジ！」バレーボール教室〜ミズノビクトリクリニックin豊岡を、総合体育館で開催しました。

この教室は、バレーボールの基礎技術の向上だけでなく、子どもたちが日本を代表する選手や指導者とじかに接することにより、感動やあこがれ、夢を育むこと、スポーツの楽しさを感じてもらうことを目

的に開催しました。

当日は、市内の小中学生15チーム約150人が、バルセロナ五輪アメリカ代表で銅メダリストのヨーコ・ゼッターランドさん、アトランタ五輪

日本代表の横野有紀(旧姓・永富)さん、バルセロナ五輪日本代表の小柳紀代子(旧姓・福田)さん、元全日本代表の向井久子さんに、基礎的な技術習得のための練習方法などの指導を受けました。

ゼッターランドさんは、子どもたちにチャレンジすることの大切さや普段の練習に取り組む姿勢などを力強く伝え、指導者講習会では「子どもたちの可能性のために粘り強い指導を！」と話しました。



▲アンダーパスを指導する講師

奥田副市長の飛び入り日記①

自然美再発見!

突然飛び入り日記です。大雪だったふるさとも、春めいてきました。そう言えば、この原稿を書いている今日は節分、明日は立春です。

冬の間途絶えていたウォーキングに出かけてみました。私にとっては大発見。改めて自然界の素晴らしい光景に出会いました。それは、「野鳥」もず」の「はやにえ」です。

「浄水場の辺りで珍しいものが見えるよ」。近所のおじさんの言葉に誘われた小学5年生の孫が「堤防のヤマザクラの枝にカエルが刺してあったよ」と教えてくれたのが、4日ほど前のことでした。多分食べちゃって無いだろうと思っていました。なんと2本の桜の木の枝にアマガエルが3匹も刺さっていました。食の保存なのか、食べやすくするためなのか「もず」に聞いてみたい気になりました。ウォーキングで自然の美しさ、ありがたさを感じます。

春、ウグイスの声に目覚め、

口笛で、歩く道々の松の先端を渡るウグイスと競争します。

夏、オオルリの「ピーピークルクルピー」の美声に起こされ、カワセミの美しさに目を見張り、仲良く水面で遊ぶオシドリに笑みを浮かべます。オオサンショウウオにお目にかかることも。

秋、サイクリングロード脇のハス池では、ヒスマイトトンボと見まがうような可愛いものもちらん、野の花やワラビも再三再四、わが家の食卓に上ります。わが家からシルク温泉までの往復5キロのウォーキング道は、健康で生かしてもらおう感謝の道です。さらに通勤途中では、野生復帰したコウノトリが先導してくれます。円山川の上流から中下流まで、贅沢な環境のふるさとはです。

